

堰上式魚道の管理上の留意点

魚道を設置したあと、次のようなことに留意して管理を行いましょう。
そうすることで、魚が格段に田んぼに入りやすくなります。

● 田んぼの排水柵を 魚が通れる広さにしましょう



改良

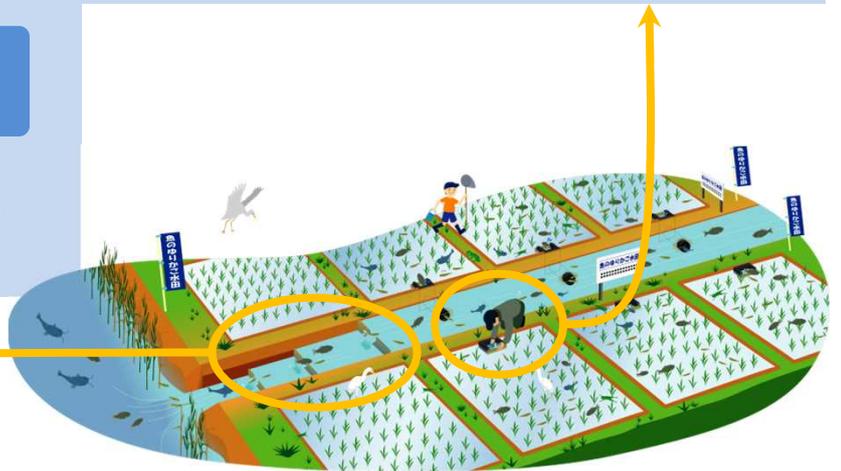


もしくは



● 排水柵の堰板は 高く積み上げないようにしましょう

- 降雨時に、速やかに水田から越流するように、堰板は田んぼの水面すれの高さに設置しましょう



● 水路の堰上・湛水は 5月10日頃までに行いましょう

- 早く堰上・湛水を始め、降雨時に遡上する親魚を迎える準備をしましょう

● 堰上水路の状態を 良好に保ちましょう

- 階段の水位差は10cm以内としましょう
- 常時、堰板の切欠きから水が越流しているか、満水に近い状態を保ちましょう

● 堰上水路の水位を 高く設定しましょう

- 水路と水田水面（堰板天端）の水位差が5cm以内となるようにしましょう
- 水路上流の水田標高に合わせて水位を調整しましょう

雨が予想される場合は・・・

● 可能であれば、用水を少し流して 魚道の越流量を確保しましょう

- ※近年、遡上が期待できる雨は年間2回程度と非常に少ない状況ですので、そのチャンスを活かしましょう
- ※豪雨時（魚道の越流量が十分ある場合）は、用水補給は不要です

中干し期～中干し後や 転作地域において…

ニゴロブナは、6月末から7月にかけても、遡上・産卵することが確認されています。
この時期に、排水路を約30cm湛水させると、そこで産卵することが可能になります

